

コロナ禍にあっても求心力を高めるベンチャー拠点  
かわさき新産業創造センター（KBIC）の入居率が90%を超えました

～革新的な技術を有する3社が新たに入居～

川崎市が運営する首都圏最大規模の研究開発型インキュベーション施設「かわさき新産業創造センター（※）」に、新たに革新的な技術を有する Heartseed（ハートシード）株式会社、株式会社 LexxPluss（レックスプラス）ほか1社の3社が入居します。

これにより、かわさき新産業創造センターの入居率が90%（面積比）を超え、コロナ禍にあっても有望なベンチャー企業の集積が進んでいます。

【主な入居企業】 ※各企業の詳細については別紙参照

1. Heartseed 株式会社

- 事業概要「iPS細胞を使った心筋細胞移植による心臓の再生医療」
- 入居予定日：9月1日
- URL：<http://www.heartseed.jp/>

2. 株式会社 LexxPluss

- 事業概要「物流倉庫・製造工場向け自動搬送ロボット」
- 入居日：8月1日
- URL：<https://www.lexxpluss.com/>

※かわさき新産業創造センター（川崎市幸区新川崎 7-7）

JR 横須賀線の新川崎駅から徒歩約10分の新産業創出拠点「新川崎・創造のもり」の敷地内（81,000㎡）に立地する、KBIC本館・NANOBIIC・AIRBIICの3棟からなる、部屋数106室、計約7,000㎡の研究開発型ベンチャー企業等を育成するインキュベーション施設。45社、2研究室、1団体が入居（8月1日現在）。

新川崎地区には慶應義塾大学やグローバル企業等が集積しており、産学・産産連携の拠点形成が進んでいる。



AIRBIIC 外観

【問合せ先】

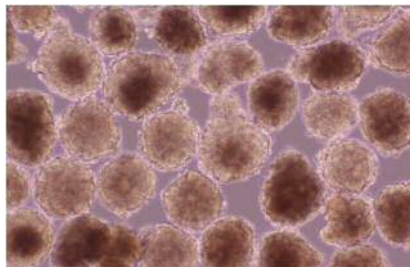
川崎市経済労働局イノベーション推進室  
鈴木・一ノ瀬担当  
電話 044-200-3712

# K B I C新規入居企業について

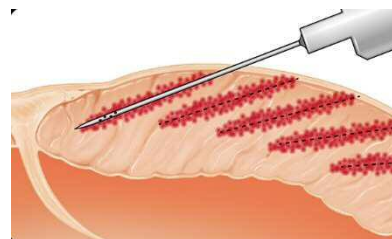
## 1. Heartseed 株式会社



- 代 表 代表取締役社長 福田 恵一
- 設 立 2015年11月
- 企業概要 心筋再生の第一人者である慶應義塾大学の福田恵一研究室で開発された心筋再生医療に関する技術を社会実装するために設立されたバイオテック企業。  
同社は iPS 細胞と心筋細胞の代謝経路の違いを利用し、(ほぼ純度 100%の心筋細胞を精製する技術をはじめ、心筋再生医療に必要な一連の技術を全て開発しており、これにより世界初の本格的な心筋再生医療の臨床応用を目指している。同社の開発品は従来の細胞が分泌する因子に依存する細胞医療とは異なり、純度の高い心室筋特異的な心筋細胞の塊（心筋球）を心臓組織内に直接投与し、再生心筋が長期間生着して拍動を生み出すことで、直接的かつ顕著な心機能改善効果が見込まれる。対象患者が国内で 120 万人とされる 慢性心不全の抜本的治療法として期待されている。
- そ の 他 設立以来、事業会社、VC（ベンチャーキャピタル）から既に 40 億円の資金調達を行っている。



社名の由来ともなった心筋球。約 1000 個の心筋細胞が微小組織を形成



安全かつ高密度・均一に細胞を移植するデバイスも開発している

## 2. 株式会社 LexxPluss



- 代 表 代表取締役 阿藤 将也
- 設 立 2020年3月
- 企業概要 代表の阿藤氏がボッシュ株式会社に在籍時に自動バレー駐車（無人駐車）システムの日本導入、物流トラックの自動化プロジェクトの技術責任者としてプロジェクトを推進した経験を基に、新たな自動搬送ロボットを開発するために創業したベンチャー企業。  
同社は指定された領域内であれば自由に走行できる 自律走行型と、センサーによる 軌道走行型を 1 台で自由に切り替え可能な特長を有する自動搬送ロボットや、物流

倉庫等の現場の設備やシステムに連携可能なソフトウェア等を開発し、現場の作業工程にフレキシブルに対応した自動化ソリューションの提供を行う。

- その他 2020年4月 サムライインキュベート主催の「The First Movers」に採択。  
2020年5月 SOSV、住友商事、SCSK 主催の「HAX Tokyo」に採択。

